

平成 20 年度佐賀県小・中学校学習状況調査

(教科正答率と児童生徒意識調査結果とのクロス集計・分析結果)

参考資料

平成 20 年度佐賀県小・中学校学習状況調査概要

教科正答率と児童生徒意識調査結果とのクロス集計

児童生徒意識調査結果からみる「子ども像」「学習者像」

(参考) 児童生徒意識調査「子ども像」「学習者像」[概要]

平成 21 年 6 月 17 日

佐賀県教育センター

平成 20 年度佐賀県小・中学校学習状況調査結果について

調査概要

1 趣旨

小学校及び中学校学習指導要領に示されている目標や内容の実現状況を把握するとともに、各市町教育委員会や指導を担当する教師が、児童生徒一人一人の学習状況について実態を把握するために、県全体での全数調査を行う。また、児童生徒の学習に対する意識や態度及び生活習慣、教師の指導方法などについて実態を把握するために、意識調査を行う。これらの調査結果を活用することにより、各学校が、授業における指導方法や学校、家庭、地域における学習環境の改善に役立てることを調査の目的とする。

2 調査実施日

小・中学校とも平成 20 年 12 月 2 日（火）・3 日（水）

3 調査内容

- (1) 各教科の目標や内容の実現状況に関するペーパーテスト
- (2) 学習に対する意識や生活習慣等に関する児童生徒意識調査
- (3) 学習指導法等に関する教師意識調査

4 調査方法

- (1) ペーパーテストによる学習状況調査

調査問題は、県が独自に作成した問題によって構成する。

対象学年	対象教科
小学校 5、6 年生全員	国語、社会、算数、理科
中学校 1、2 年生全員	国語、社会、数学、理科、英語

- (2) 質問紙法による児童生徒意識調査

対象学年の児童生徒全員について実施する。

- (3) 質問紙法による教師意識調査

対象学年の対象教科を担当する教職員について実施する。

5 調査実施日当日に調査を実施した学校・児童生徒数

	学校数	学年	人数
小学校	174 校	第 5 学年	8,776 人
		第 6 学年	8,725 人
中学校	96 校	第 1 学年（県立学校を含む）	8,285 人
		第 2 学年（県立学校を含む）	8,472 人
特別支援学校	5 校	小学部第 5 学年	3 人
		小学部第 6 学年	3 人
		中学部第 1 学年	8 人
		中学部第 2 学年	5 人

教科正答率と児童生徒意識調査結果とのクロス集計

「平成 20 年度佐賀県小・中学校学習状況調査（平成 20 年 12 月実施）」の教科正答率と児童生徒意識調査のクロス集計を行い、それらの相関（教科正答率と関連がありそうなもの）について特徴的なものを以下の 4 つの傾向としてまとめた。

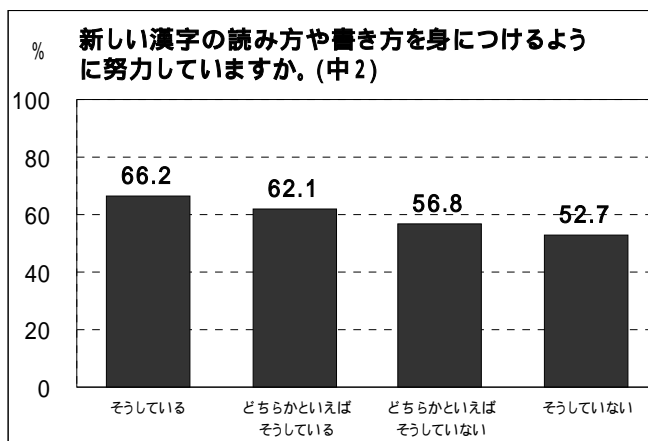
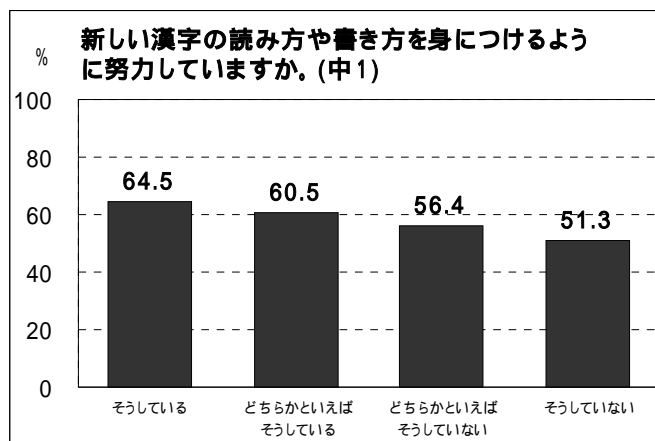
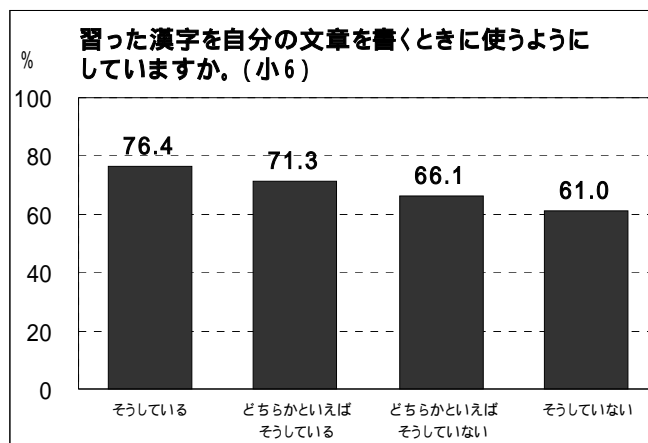
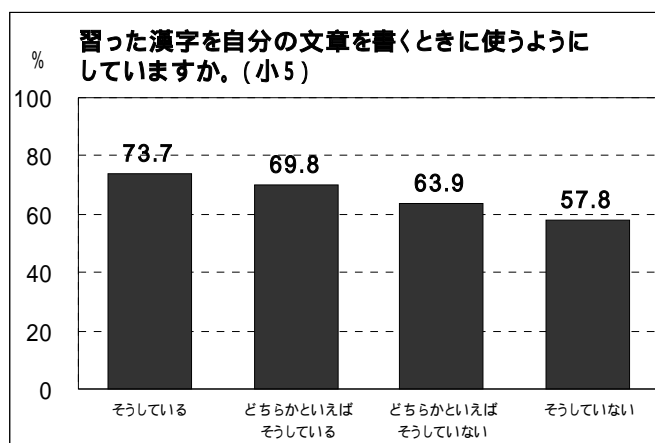
傾向 1

小学生で、文章を書くときに、今までに習った漢字をできるだけ使おうとしている児童の平均正答率は、高い傾向にある。また、中学生では、新しく学習する漢字の読み書きを身に付けようと努力している生徒の平均正答率は高い傾向にある。

小学生で、文章を書くときに、今までに習った漢字をできるだけ使おうとしている児童の 4 教科の平均正答率で、「そうしている」と回答した児童は、「そうしていない」と回答した児童より、小学 5 年で 15.9 ポイント、小学 6 年で 15.4 ポイント高い。また、中学生では、新しく学習する漢字の読み書きを身に付けようと努力している生徒の 5 教科の平均正答率で、「そうしている」と回答した生徒は、「そうしていない」と回答した生徒より、中学 1 年で 13.2 ポイント、中学 2 年で 13.5 ポイント高い。

既習内容を生かそうとする意識が、その後の学習活動に効果的に働いている傾向がうかがえる。

回答選択肢別の平均正答率グラフ

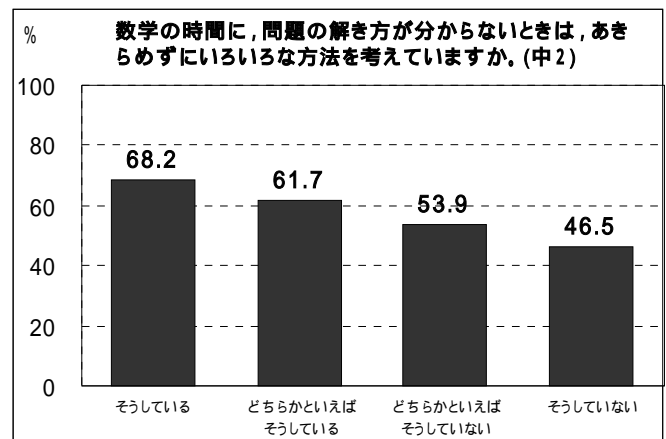
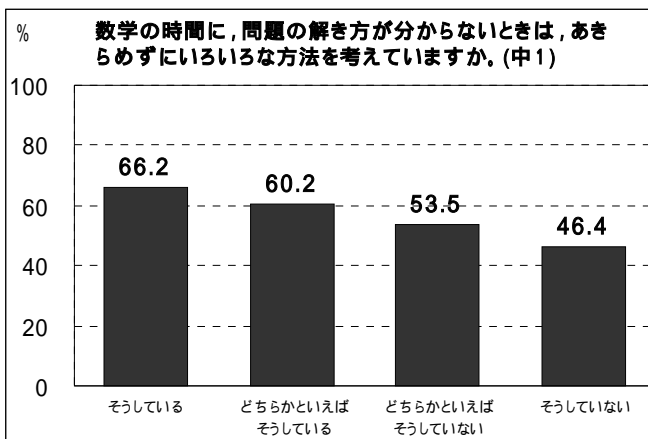


傾向2

中学生で、数学の問題の解き方が分からないときに、あきらめずにいろいろな方法で考える生徒の平均正答率は、高い傾向にある。

中学生で、数学の問題の解き方が分からないときに、あきらめずにいろいろな方法で考える生徒の5教科の平均正答率で、「そうしている」と回答した生徒は、「そうしていない」と回答した生徒より、中学1年で19.8ポイント、中学2年で21.7ポイント高い。学習活動において、あきらめずに根気強く問題解決を行う姿勢は、他教科の正答率によい影響を与えていることがうかがえる。

回答選択肢別の平均正答率グラフ



傾向3

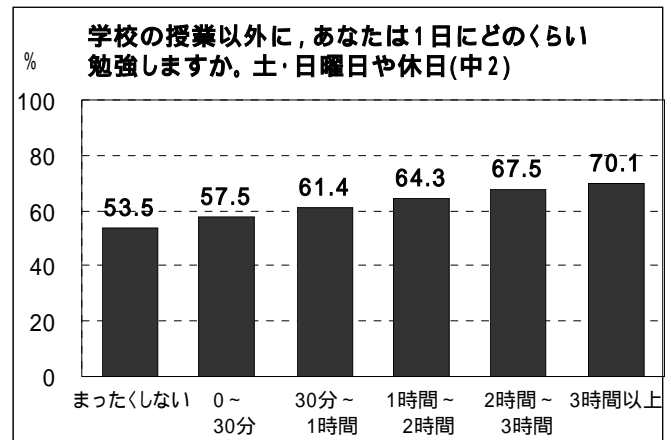
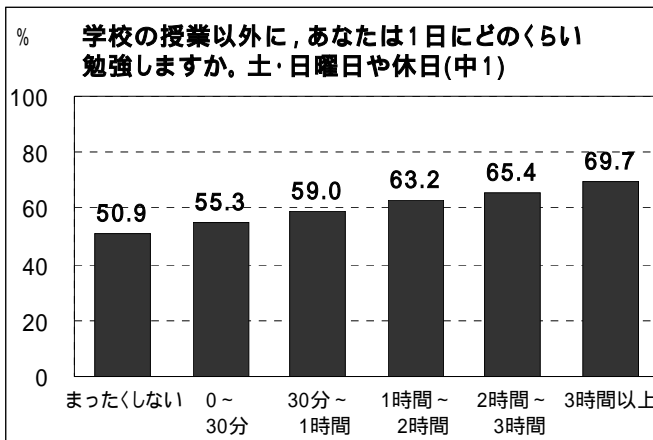
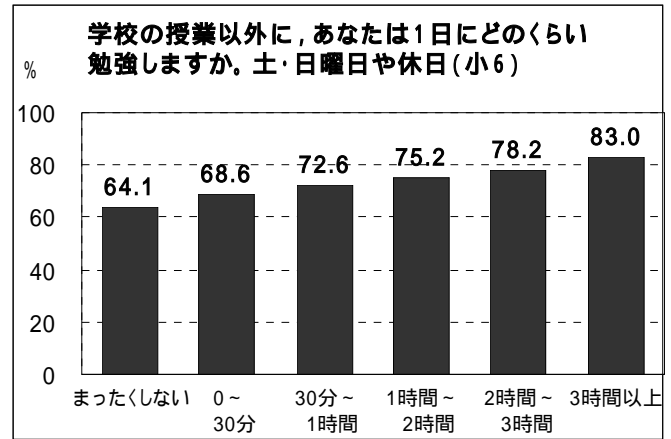
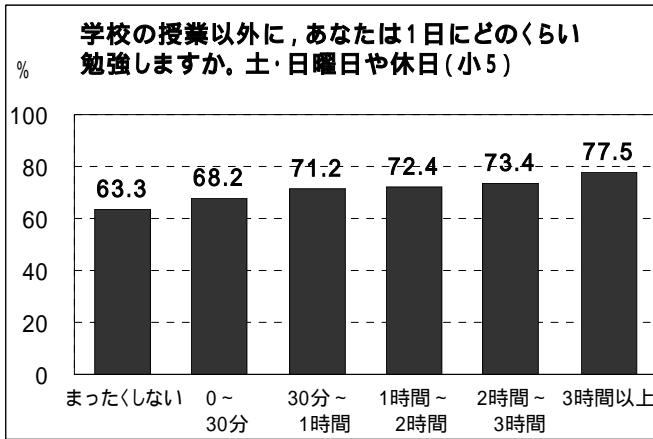
小・中学生とも、休日でもしっかりと家庭学習をしている児童生徒の平均正答率は、高い傾向にある。

小学生では、休日に家庭学習を「3時間以上している」から「まったくしていない」までの6つの選択肢において、家庭学習時間が短くなるにつれ、4教科の平均正答率には段階的に低くなり、その差は、小学5年は14.2ポイント、小学6年は18.9ポイントであった。

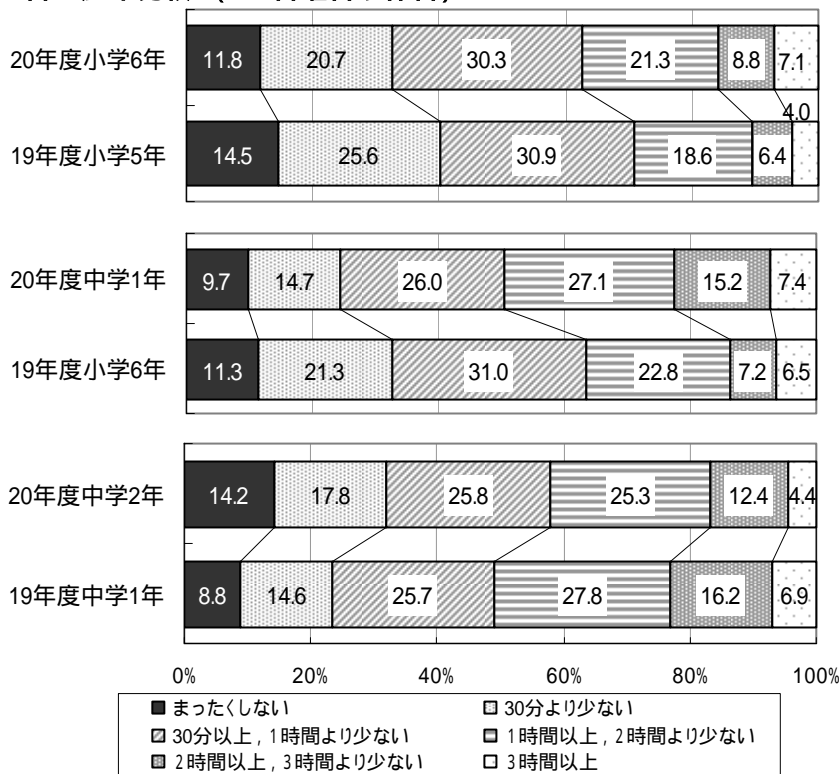
中学生においても同じ傾向を示し、家庭学習を「3時間以上している」から「まったくしていない」までの5教科の平均正答率の差は、中学1年は18.8ポイント、中学2年は16.6ポイントであった。

また、前年度調査との経年比較をすると、同一児童生徒で、小学5年から小学6年、小学6年から中学1年にかけては、家庭学習時間は増加しているが、中学1年から中学2年にかけては減少する傾向にある。学習内容がさらに難しくなる中学2年では、充実した家庭学習が行われるよう、意欲を喚起する必要がある。

回答選択肢別の平均正答率グラフ



「学校の授業以外に、あなたは1日にどのくらい勉強しますか」の割合の経年比較 (土・日曜日や休日)



傾向 4

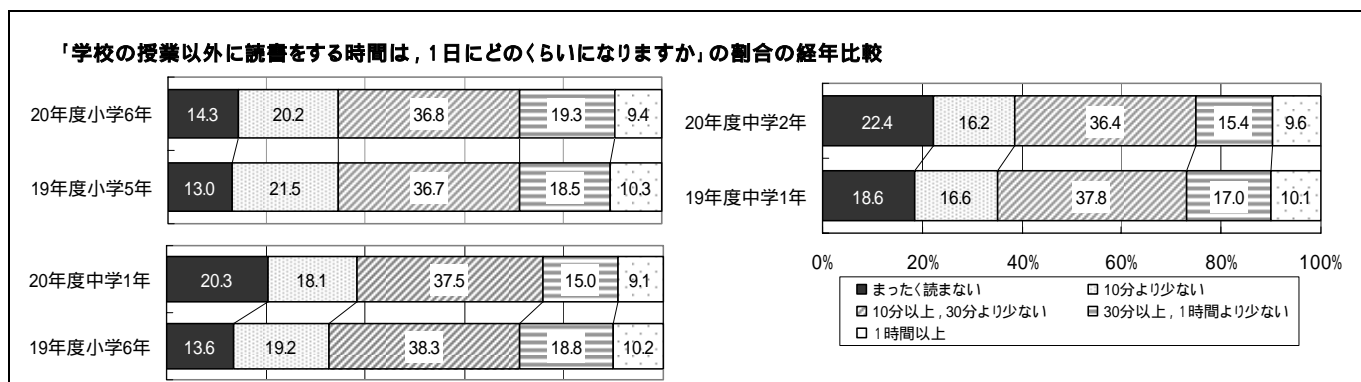
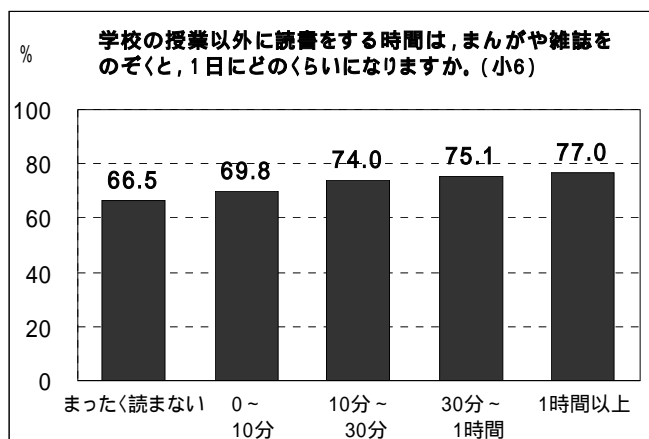
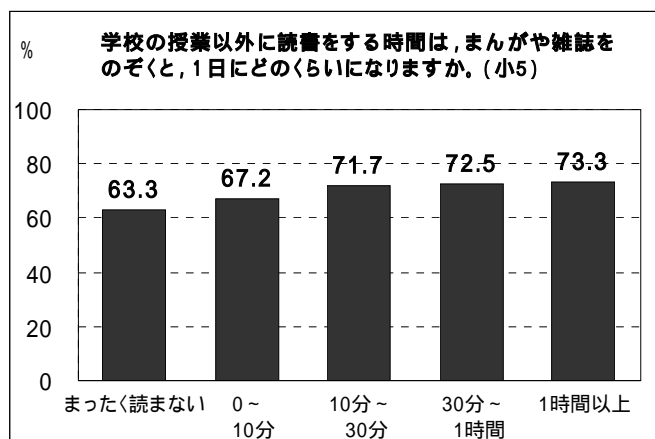
小学生は、読書をする時間が多くなるにしたがって、平均正答率が高い傾向にある。

回答選択肢中、本を「まったく読まない」から「1時間以上読む」までの間で、4教科の平均正答率には段階的に高くなり、その差は、小学5年では10.0ポイント、小学6年は10.5ポイントであった。

小学5年から中学2年までのすべての学年では、「1時間以上」と回答した児童生徒が約1割、「30分以上1時間より少ない」と回答した児童生徒が2割弱、「10分以上30分より少ない」と回答した児童生徒が4割弱となっている。「まったく読まない」と回答した児童生徒は、小学校で1割強、中学校では約2割である。

前年度調査との経年比較をすると、同一児童生徒で、全体的に大きな差異はみられないが、小学6年から中学1年にかけては読書量が明らかに減っている。各学校では、朝の読書や10分間読書などの取り組みが進められており、読書の時間が10分以上という児童生徒の割合が6割以上に達している。しかし、小学5年から小学6年など経年変化を見ると、「10分より少ない」「まったく読まない」と回答した児童生徒の割合が増えている。読書習慣の定着を図るために、家庭との連携も必要と考えられる。

回答選択肢別の平均正答率グラフ



児童生徒意識調査結果からみる「子ども像」「学習者像」

児童生徒の学校生活・学習動機・学習活動やそれを取り巻く生活習慣などについて広く調査した。教科指導上の参考になるものについて、以下にその結果を示す。

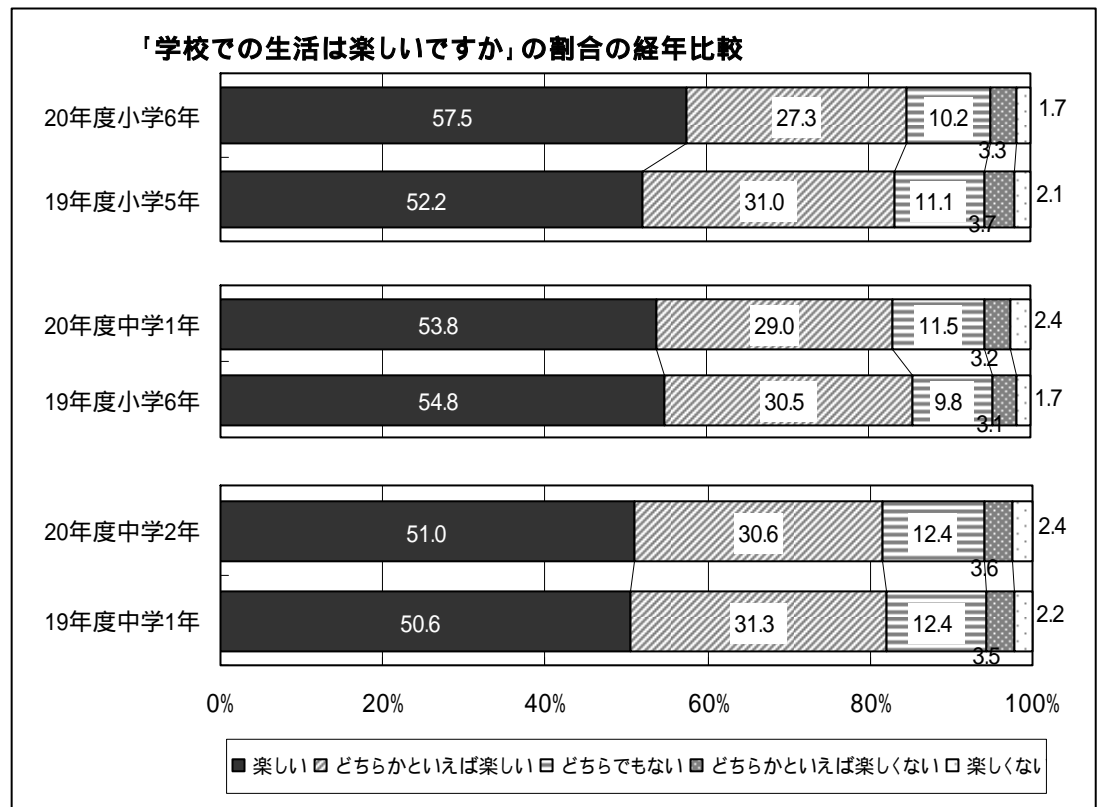
なお、教科正答率との相関は見られなかった。

学校適応（「学校での生活は楽しいですか」）

どの学年においても、「楽しい」と回答した児童生徒が5割を上回り、「どちらかといえば楽しい」と回答したものは約3割を占めている。

前年度調査との経年比較をすると、同一児童生徒で、「楽しい」と回答した児童生徒は、小学5年から小学6年にかけて、5.3ポイント増加しているが、他は、大きな差異はみられない。

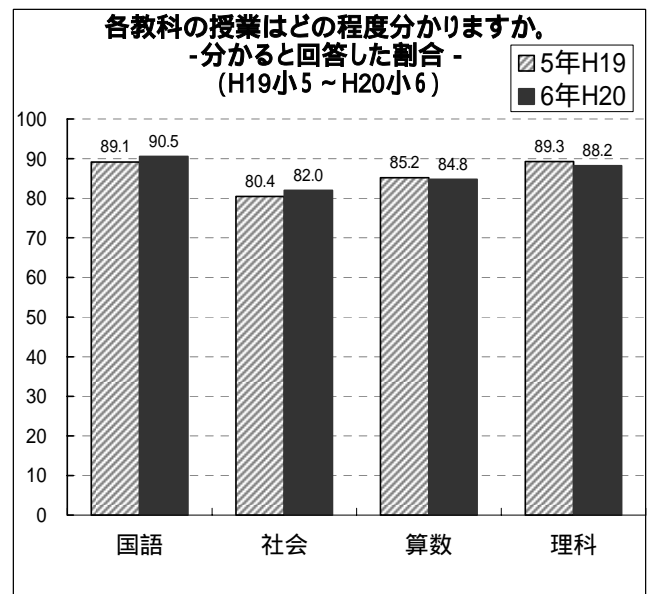
なお、小学6年から中学1年の移行期についてみると、今回の調査結果（学校適応の状態）からは、いわゆる中1ギャップをはじめ、不登校の増加に影響しているかなどについては、考察できなかった。今後、より慎重な検討を加えてみる必要がある。

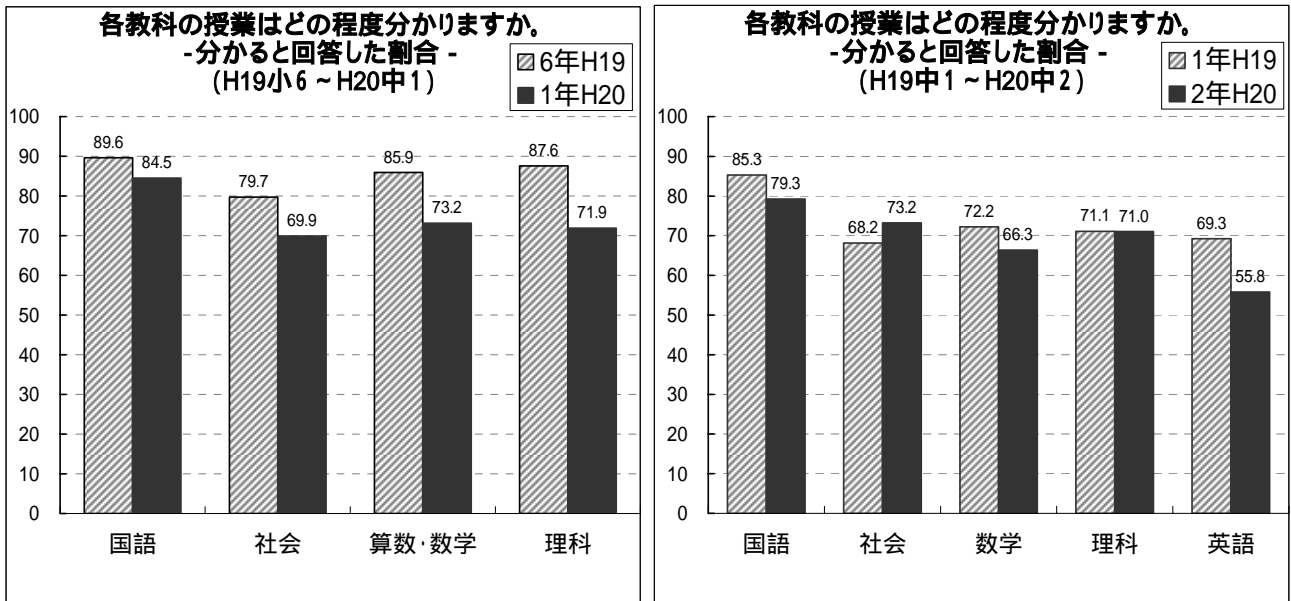


各教科の理解度（「各教科の授業はどの程度分かりますか」）

前年度調査との経年比較をすると、同一児童生徒で、「授業がよく分かる」「どちらかといえばよく分かる」と回答した児童生徒の割合は、小学6年から中学1年にかけては大きく減少する。特に、理科が最も大きく落ち込み、15.7ポイント低くなった。なお、それぞれの教科の特性で、内容的に難しくなるためか、どの教科においても「分からなくなった」という意識が大きく占めている。

一方、「学校での生活が楽しいですか」に対して





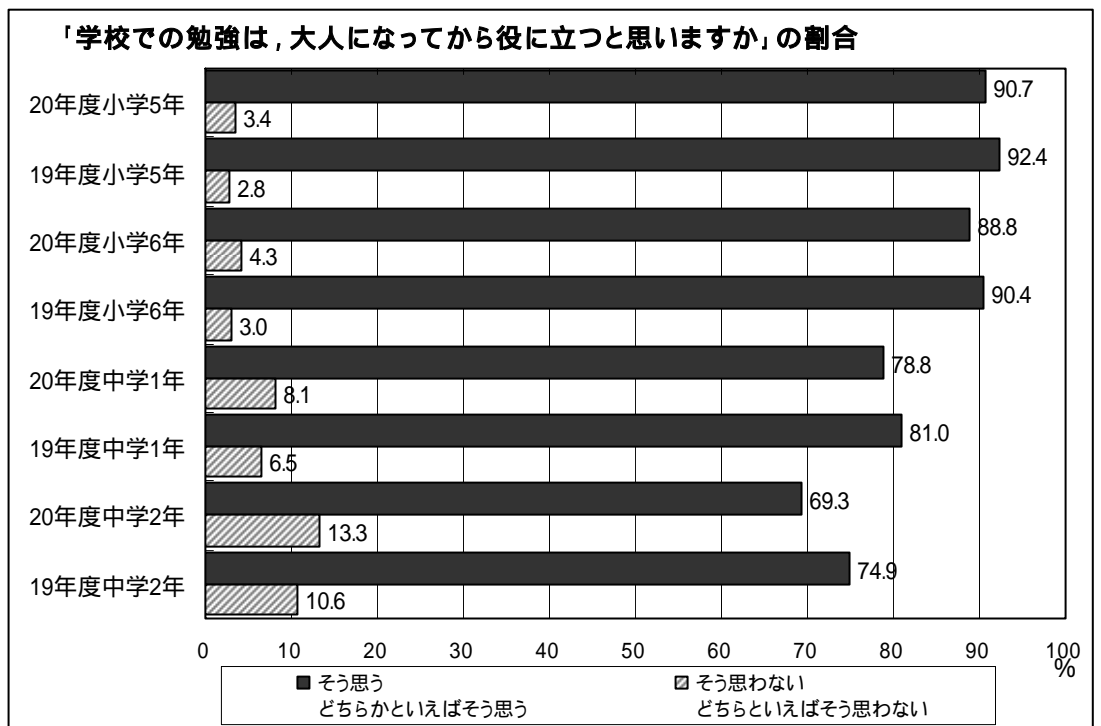
は、小学6年から中学1年への場合は、それほど差は認められなかった。

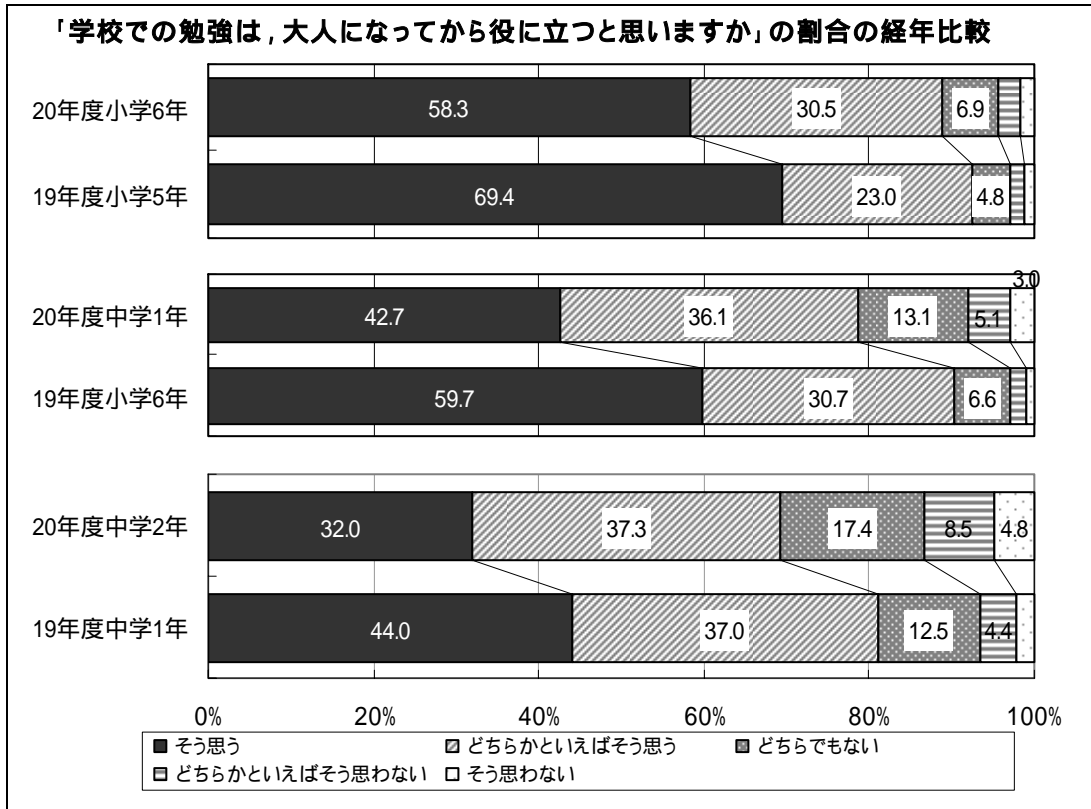
学習動機（「学校での勉強は、大人になってから役に立つと思いますか」）

「学校での勉強は、大人になってから役に立つと思いますか」という設問については、小学校では、約9割の児童が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。中学1年では8割、中学2年が7割弱となっている。

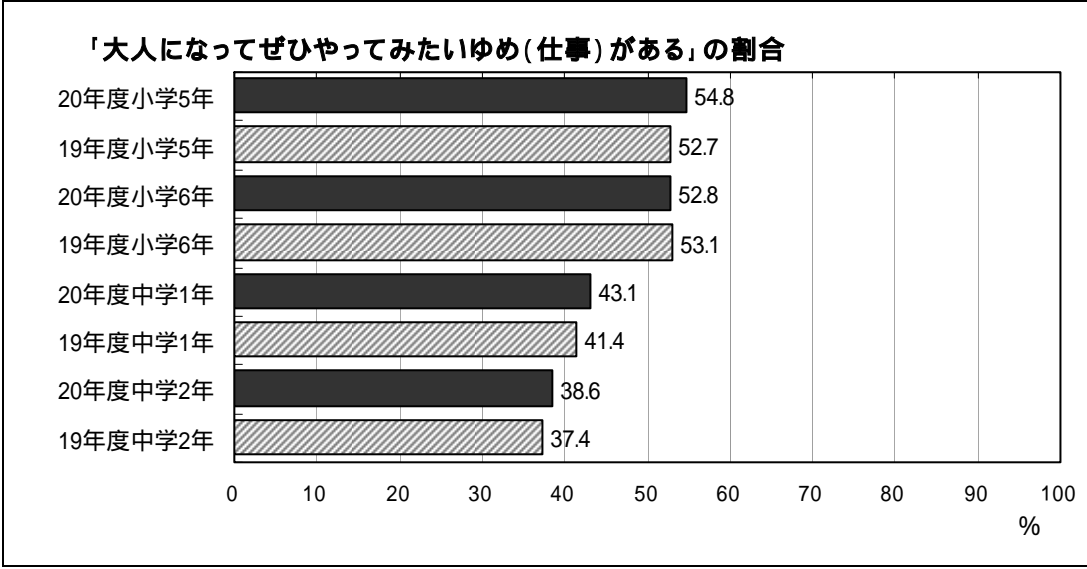
前年度調査との経年比較をすると、同一児童生徒で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒の割合は、小学5年から小学6年にかけて3.6ポイント減少し、小学6年から中学1年にかけては11.6ポイント、中学1年から中学2年にかけては11.7ポイント減少している。

教科の学習が知識の習得だけで終わることなく、日常生活との関連や将来における社会とのつながりなどについて、児童生徒が関心や気づきを持つような学習指導要領改訂のキーワードのひとつである「活用」を意識した指導の工夫が求められる。





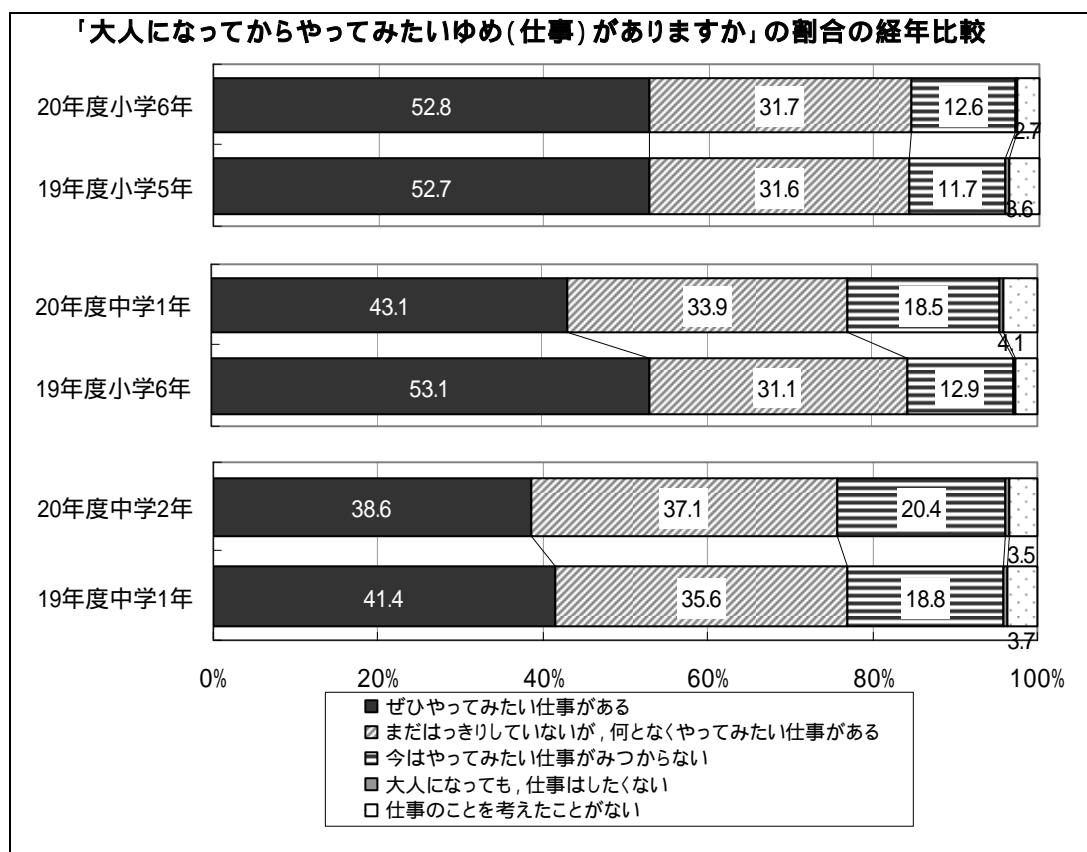
学習動機（「あなたは大人になってからやってみたいゆめ（仕事）がありますか」）
 「あなたは大人になってからやってみたいゆめ（仕事）がありますか」という設問については、小学校では、約5割、中学校では約4割の児童生徒が「ぜひやってみたい仕事がある」と回答している。これらの傾向は、前年度調査と大きな差異はみられない。



前年度調査との経年比較をみると、同一児童生徒で、「ぜひやってみたい仕事がある」と回答した児童生徒の割合は、小学5年から小学6年にかけて変化はないが、小学6年から中学1年にかけては10.0ポイント減少し、「今はやってみたい仕事が見つからない」と回答した児童生徒が5.6ポイント増加している。

この設問については児童生徒の発達段階や質問文の違い、また、児童生徒が描く「ゆめ（仕事）」の具体的なレベルの違いなど様々な要因が考えられる。しかし、夢を持ち、将来の自分を

描くことは、教科学習を進める意欲にもつながる。従来の特別活動における進路指導に加えて、キャリア教育の視点などを加味した継続的・系統的な指導が必要と思われる。



)小学生の質問文「あなたには、大人になってから、かなえてみたいゆめ(仕事)がありますか。」
 中学生の質問文「あなたには、大人になってから、やってみたい仕事がありますか。」
 なお、回答選択肢は同じ。

(参考) 児童生徒意識調査

児童生徒意識調査は、児童生徒の学校生活・学習動機・学習活動やそれを取り巻く生活習慣・家族関係・地域における生活などについて広く調査し、その実態を把握するために、以下の各設問の意図のもとに実施した。

学校生活

設問は〔学校適応〕と〔友だち関係への志向性〕の2つのカテゴリからなる。〔学校適応〕は、学校生活の楽しさ・勉強に対する興味・学習状況や教師との関係など児童生徒の学校への適応度について問う。また、〔友だち関係への志向性〕は友だちをつくることについての考えなど友だち関係への志向の高さについて問う。この2つの相関から、児童生徒の学校生活の実態を把握する。

学習動機

勉強に対する興味や有用性、大人になってからかなえてみたい仕事の有無について問うことにより、学習動機の高さについての実態を把握する。

学習活動(教科全般)

授業で分からないときの対応、授業以外の勉強時間や勉強の方法、塾や家庭教師の有無など児童生徒の学習方法全般について問うことにより、児童生徒の学習活動全般の実態について把握する。

学習活動(各教科)

各教科についての興味や理解度についての自己評価、各教科の特性に応じた学習内容や学習方法についての児童生徒の興味・関心・意欲・態度について問うことにより、それぞれの教科についての学習活動の実態について把握する。また、小学校算数及び中学校数学と英語については、県の施策でもあるチームティーチングや少人数指導に対する児童生徒の意識を問うことにより、児童生徒の立場に立ったチームティーチングや少人数指導の効果を把握する。

生活習慣

読書時間、テレビやゲームなど自由に過ごす時間、就寝時刻、朝食や家の手伝いの頻度、情報収集の手段など生活習慣全般について問うことにより、児童生徒の家庭における生活習慣の実態について把握する。

家族関係

きょうだい数、家族の接し方、家族に対する意識について問うことにより、児童生徒の家族関係に対する意識の実態について把握する。

地域社会における生活

課外活動や習い事の頻度、地域における行事などへの参加の頻度について問うことにより、児童生徒の授業外における活動や地域での活動への参加の実態について把握する。

(参考：児童生徒意識調査結果からみる「子ども像」)

子ども像 (小学5、6年生)

学校生活

学校適応 はい・どちらかといえばはい を合わせた割合
 ・学校での生活は楽しい……………85%
 ・勉強が好き……………50%
 ・学校では落ち着いて勉強できている……74%
 ・なにか困ったことがあったとき、先生に相談する
 ……41%

友だち関係への志向性
 ・友だちをつくることは大切……………96%
 ・友だちといっしょにいる方がひとりであるより
 楽しい……………89%

学習動機

はい・どちらかといえばはい を合わせた割合
**学校での勉強は、大人になってから役に
 立つと思う**……………90%

**大人になってから、かなえてみたいゆめ
 (仕事)がある**
 ぜひやってみみたい仕事がある
 ……54%
 何となくやってみみたい仕事がある
 ……31%

学習活動

**授業の中で分からないことがあったとき、
 どうすることが多いか**
 友人にたずねる……………72%
 親にたずねる……………49%
 その場で先生にたずねる…40%
 自分で調べる……………37%

学校の授業以外に1日どのくらい勉強するか
 ア 月曜日から金曜日
 30分～1時間……………34%
 1時間～2時間……………29%
 イ 土・日曜日や休日
 30分～1時間……………31%
 30分より少ない……………23%

**1週間のうち、何日塾に通ったり、
 家庭教師の先生と勉強したりしているか**
 していない…70% 2日…13%
 1日……………9%

ふだん学校の授業以外でしている勉強
 宿題があれば宿題をする……………89%
 試験があれば、それにそなえて勉強する…30%
 復習をする……………31%

生活習慣

朝食
 週5～6回(毎日)とる…94% 週3～4回とる……3%
 週1～2回とる……………2% まったくとらない…1%

読書をする時間
 10分～30分……………37% 10分より少ない…21%
 まったく読まない……14%

テレビやゲームなど自由に過ごす時間
 3時間以上……………21% 2時間～3時間……18%
 1時間～2時間……24% 30分～1時間……19%

家の手伝い
 毎日…29% 週1～2回…26% 週3～4回…23%

寝る時間
 午後10～11時…42% 午後9～10時…37%
 午後11～0時…13%

**世の中のいろいろなできごとを知ったり、情報を得たりする
 ためにふだんやっていること**
 テレビのニュース番組を見る……83%
 親の話を聞く……………48%
 新聞を読む……………35%

家族関係

きょうだいの数(自分はそのぞく)
 2人…35% 1人…39%
 3人…11%

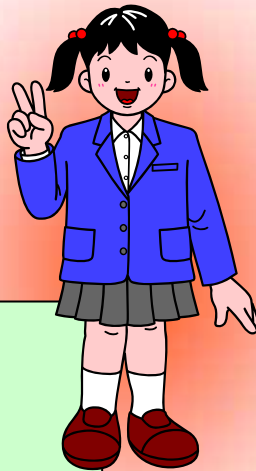
はい・どちらかといえばはい を合わせた割合
**家族といっしょにいる方がひとりであるより
 楽しい**……………82%

**家にいるとき、家族の人はあなたにどうしてい
 るか**
 よいことをすると、ほめられる……………61%
 よくないことをすると、きびしくしかられる
 ……58%
 「勉強しなさい」とよくいわれる……………48%
 「自分のことは自分でしなさい」とよくいわれる
 ……43%
 勉強についていわれることはない
 ……22%

地域社会における生活

課外活動や習い事などをどのくらいしているか
 まったくしていない…28%
 週に1～2回……………26%
 週に3～4回……………26%
 週に5回以上……………21%

**地域での行事や祭り、ボランティア活動などにどの
 くらい参加するか**
 まったく参加しない…15%
 年1回～半年に1回…54%
 月1回～月2回……29%
 週に1回以上……………3%



子ども像（中学1、2年生）

学校生活

学校適応 はい・どちらかといえばはい を合わせた割合

- ・学校での生活は楽しい……………82%
- ・勉強が好き……………23%
- ・学校では落ち着いて勉強できている……………66%
- ・なにか困ったことがあったとき、先生に相談する……………26%

友だち関係への志向性

- ・友だちをつくることは大切……………94%
- ・友だちといっしょにいる方がひとりでのいるより楽しい……………86%

学習動機

はい・どちらかといえばはい を合わせた割合

学校での勉強は、大人になってから役に立つと思う……………74%

大人になってから、かなえてみたいゆめ（仕事）がある

- ぜひやってみたい仕事がある……………41%
- 何となくやってみたい仕事がある……………36%

学習活動

授業の中で分からないことがあったとき、どうすることが多いか

- 友人にたずねる……………79%
- 自分で調べる……………39%
- その場で先生にたずねる……………35%
- 親にたずねる……………32%

学校の授業以外に1日どのくらい勉強するか

- ア 月曜日から金曜日
 - 30分～1時間……………28%
 - 1時間～2時間……………30%
- イ 土・日曜日や休日
 - 30分～1時間……………26%
 - 1時間～2時間……………26%

1週間のうち、何日塾に通ったり、家庭教師の先生と勉強したりしているか

- していない……………61%
- 2日……………18%
- 3日……………11%

ふだん学校の授業以外でしている勉強

- 宿題があれば宿題をする……………87%
- 試験があれば、それにそなえて勉強する……………60%
- 復習をする……………32%

生活習慣

朝食

- 週5～6回(毎日)とる……………92%
- 週3～4回とる……………4%
- 週1～2回とる……………3%
- まったくとらない……………1%

読書をする時間

- 10分～30分……………37%
- 10分より少ない……………17%
- まったく読まない……………21%

テレビやゲームなど自由に過ごす時間

- 3時間以上……………30%
- 2時間～3時間……………24%
- 1時間～2時間……………24%
- 30分～1時間……………13%

家の手伝い

- 週1～2回……………32%
- 毎日……………24%
- 週3～4回……………20%

寝る時間

- 午後10～11時……………38%
- 午後11～0時……………36%
- 午前0～1時……………12%

世の中のいろいろなできごとを知ったり、情報を得たりするためにふだんやっていること

- テレビのニュース番組を見る……………88%
- 友人の話聞く……………48%
- 親の話聞く……………44%

家族関係

きょうだいの数（自分はこのぞく）

- 2人……………38%
- 1人……………39%
- 3人……………11%

はい・どちらかといえばはい を合わせた割合

家族といっしょにいる方がひとりでのいるより楽しい……………68%

家にいるとき、家族の人はあなたにどうしているか

- 「勉強しなさい」とよくいわれる……………54%
- よくないことをすると、きびしくしかられる……………55%
- よいことをすると、ほめられる……………47%
- 「自分のことは自分でしなさい」とよくいわれる……………44%
- 勉強についていわれることはない……………20%

地域社会における生活

部活動・社会体育や習い事などをどのくらいしているか

- まったくしていない……………10%
- 週に1～2回……………8%
- 週に3～4回……………7%
- 週に5回以上……………76%

地域での行事や祭り、ボランティア活動などにどのくらい参加するか

- まったく参加しない……………28%
- 年1回～半年に1回……………60%
- 月1回～月2回……………11%
- 週に1回以上……………1%

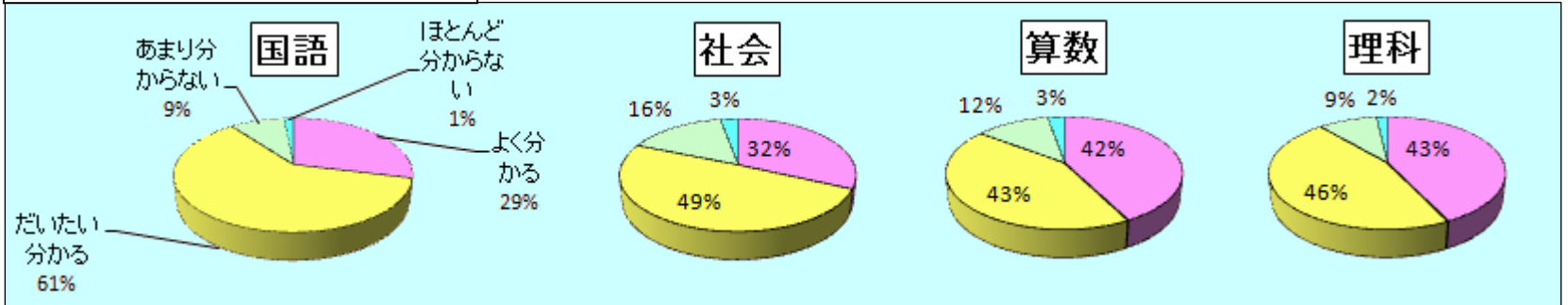


(参考：児童生徒意識調査結果からみる「学習者像」)

学習者像 (小学5、6年生)

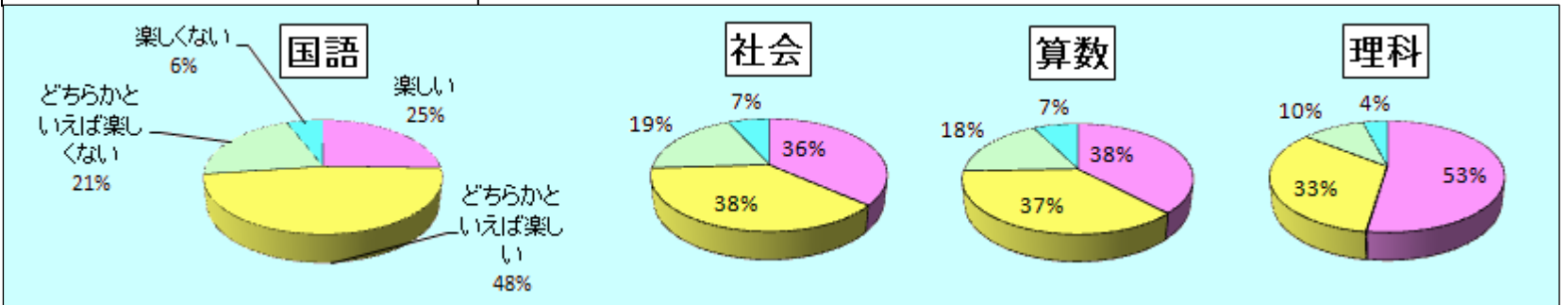
各教科の理解度についての自己評価

円グラフの数値は自動的に100%になるように調整してある。




各教科の楽しさについての自己評価

円グラフの数値は自動的に100%になるように調整してある。



各教科の特性に応じた学習内容や学習方法についての興味・関心・意欲・態度

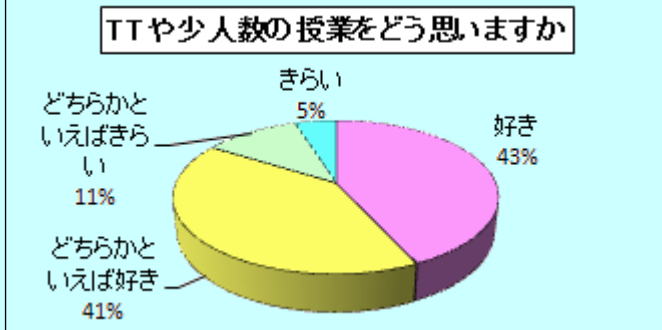
国語	社会	算数	理科
自分が考えたことや調べたことを発表することは楽しい 57%	自分が考えたことや調べたことを発表することは楽しい 60%	いろいろな考え方を発表し合うのは楽しい 68%	いろいろな考え方を発表し合うのは楽しい 73%
自分の思いや考えを文章に書こうと努力している 65%	調べたことをもとに考え、話し合いをすること(討論すること)は楽しい 66%	問題を解くとき、おはじきや模型などを使ったり、図や表を書いたりして調べている 71%	観察や実験をすることは好き 93%
自分から進んで本を読んでいる 73%	新聞やテレビのニュースなどに出てくる国内外のできごとや事件などに興味・関心がある 78%	新しい内容や考え方などを勉強したら、自分の身の周りの場面などにあてはめてみたり、使ってみたりしている 59%	疑問に思ったことや興味・関心をもったことについては、自分で調べている 55%
新しい漢字の読みや書きを身に付けようとしている 82%	工場や遺跡の見学、博物館や郷土資料館など学校の外に出て勉強することは好き 90%	 <p>図中の数値は「楽しい」「興味がある」「...している」と回答した割合と「どちらかといえば」と回答した割合を合わせた数値である。</p>	
ふだんの生活の中で、ことばのきまりやことばのマナーに気をつけている 72%	疑問に思ったことや興味・関心をもったことについては、自分で調べている 54%		

チームティーチングや少人数授業に対する児童の意識

チームティーチングや少人数授業を受けた児童	
チームティーチング・・・33%	少人数指導・・・13%
両方とも受けた・・・46%	受けていない・・・8%

チームティーチングや少人数授業について思うこと
分からない時、先生に質問しやすい・・・53%
自分のペースで勉強できる・・・50%
先生が声をかけたり、一人一人をよく見てくれる・・・37%
集中して勉強できる・・・37%
勉強がよく分かるようになった・・・31%

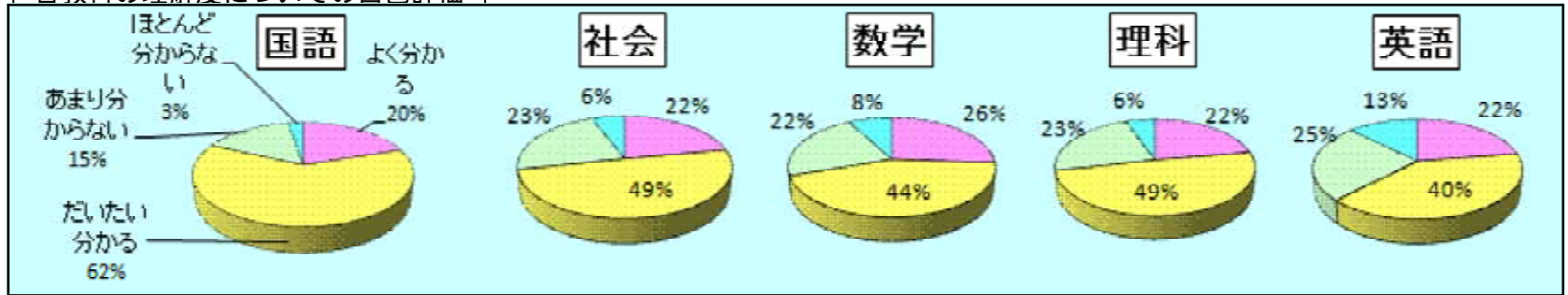
TTや少人数の授業をどう思いますか



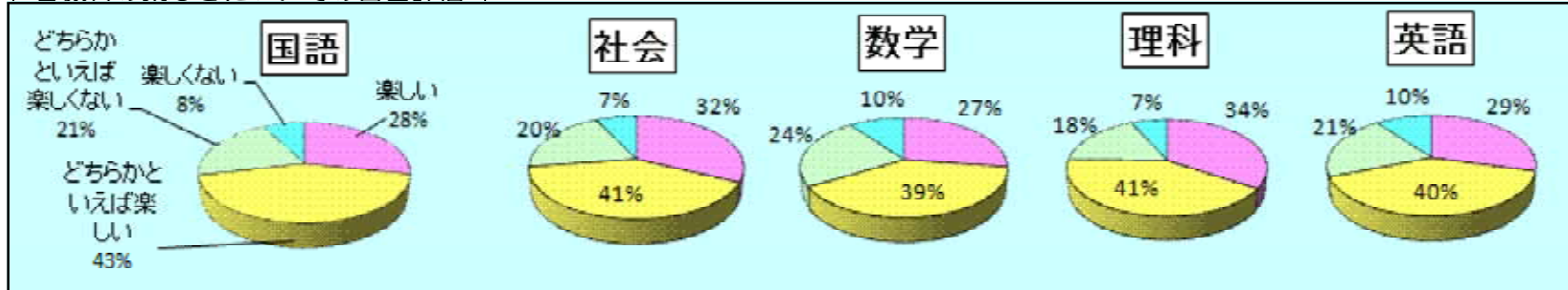
意見	割合
好き	43%
どちらかといえば好き	41%
どちらかといえば嫌い	11%
嫌い	5%

学習者像（中学1、2年生）

各教科の理解度についての自己評価



各教科の楽しさについての自己評価



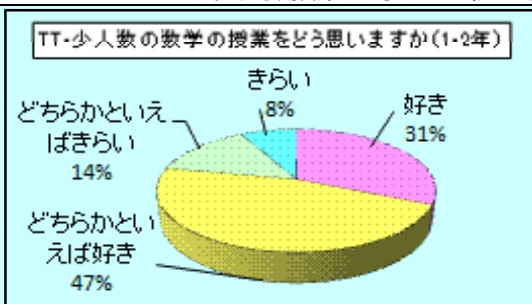
各教科の特性に応じた学習内容や学習方法についての興味・関心・意欲・態度

国語	社会	数学	理科	英語
自分が考えたことや調べたことを積極的に発表しようとしている 32%	自分が考えたことや調べたことをまとめて発表することは楽しい 51%	いろいろな考え方を発表し合うのは楽しい 74%	いろいろな考え方を発表し合うのは楽しい 65%	英語を聞いたり、話したりするのは楽しい 66%
自分の思いや考えを文章に書こうと努力している 57%	調べたことをもとに考え、話し合いをすること(討論すること)は楽しい 60%	問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法で考えている 76%	問題を解決するために、観察や実験を計画し、実施することは好き 85%	英語を使って、手紙や日記、e-mailなどを書くことに興味がある 35%
新しい漢字の読み方や書きを身につけるように努力している 74%	新聞やテレビのニュースなどに出てくる国内外のできごとや事件などに興味・関心がある 78%	問題を解くとき、ノートやプリントに図や表をかくたり、模型などの具体物を使ったりして調べている 65%	観察や実験を行ったあと、考察やまとめを行うようにしている 78%	ALTの先生とコミュニケーションをとることは好き 64%
ことばのきまりを意識して、ふだんから生活している 61%	博物館や図書館、郷土資料館など学校の外に出て勉強することは好き 70%	新しい内容や考え方などを勉強したら、自分の身の回りの場面などにあてはめてみたり、使ってみたりしている 38%	疑問に思ったことや興味・関心をもったことについては、自分で調べている 44%	

図中の数値は「楽しい」「興味がある」「...している」と回答した割合と「どちらかといえば」と回答した割合を合わせた数値である。

数学

チームティーチングや少人数授業に対する生徒の意識

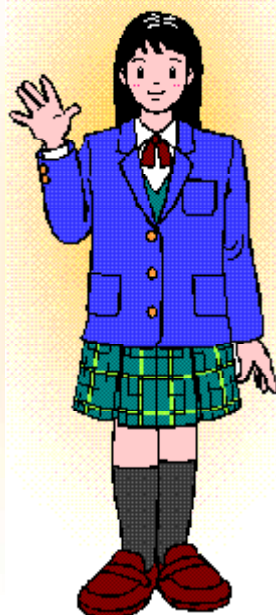


チームティーチングや少人数授業を受けた生徒

1年 TT...51% 少人数...17% 両方...18% 受けていない...14%
2年 TT...33% 少人数...20% 両方...11% 受けていない...36%

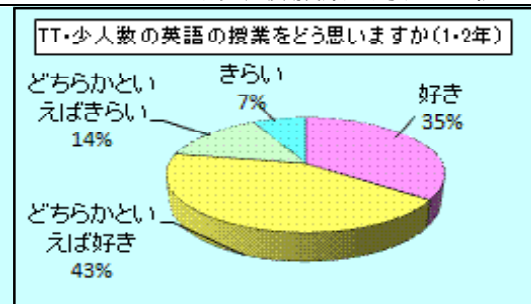
チームティーチングや少人数授業について思うこと(1・2年)

分からない時、先生に質問しやすい...57%
先生が声をかけたり、一人一人をよく見てくれる...39%
自分のペースで勉強できる...32%
集中して勉強できる...31%



英語

チームティーチングや少人数授業に対する生徒の意識



チームティーチングや少人数授業を受けた生徒

1年 TT...73% 少人数... 5% 両方... 9% 受けていない...13%
2年 TT...49% 少人数... 7% 両方...11% 受けていない...33%

チームティーチングや少人数授業について思うこと(1・2年)

分からない時、先生に質問しやすい...58%
先生が声をかけたり、一人一人をよく見てくれる...41%
自分のペースで勉強できる...25%
集中して勉強できる...23%